

研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

自傷行為にて措置入院となったものの予後調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月1日から2022年3月31日までに自傷行為や自殺企図で措置入院となった患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

わが国の自殺者総数は、減少傾向でしたが、経済状況、社会情勢などにより変動し、2021年は上昇傾向へ転じ、社会問題となり続けています。自傷行為歴や自殺企図歴は自殺のリスク因子の中でも重要であり、自殺未遂者や自傷者に対しての適切なアセスメントと治療介入は自殺既遂者を減らす一助になると考えられます。措置入院は「自傷他害のおそれ」があるものを対象としていますが、自傷行為にて措置入院となった患者さんの、転帰や予後を調査した研究は多くありません。今回我々は昭和大学附属烏山病院へ自傷行為や自殺企図で措置入院となった方の特徴や転帰、予後を診療録から調査することで、再企図防止へつながる有効な介入方法や対策を考えていきます。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される審査結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和大学附属烏山病院へ措置入院となった方のうち、自傷行為や自殺企図を主訴として受診した患者診療録の中から自傷歴、自殺企図歴、自傷歴及び自殺企図の手段・頻度・理由、病識の有無、家族及び家族以外への他害歴、アドヒアランス、本人及び家族の意向、作業療法及び病棟教育プログラムへの参加の有無、家族や周辺のスタッフの情報、後見保佐人の有無、経済面（裕福・困窮・生活保護など）および患者背景（年齢、性別、身体・精神の合併疾患の有無）、ADL（独歩、支え、車いすなど）、生活歴、現病歴（発症年齢、未治療期間、治療期間、入院期間・回数、診断名）、入院後経過（退院後3か月・1年以内の再企図の有無）、な

どを調査項目とします。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部精神医学講座 氏名：常岡俊昭

住所：世田谷区北烏山6-11-11 電話番号：03-3300-5231

研究責任者：常岡俊昭（昭和大学医学部精神医学講座）